

## 医学部における情報科学教育（要約）

医学情報教育研究委員会  
東京女子医科大学  
医用工学研究施設助教授  
石島 正之

医療は以前より、各種の情報をもちいマルチメディアを駆使した作業である。しかしその基本となる情報技術の重要性は医学生に理解され難いことがある。よって私たちの情報技術の教育法は、動機づけに基づくこととした。情報教育を個別に行わず、医学専門教育のなかで、情報機器を利用して専門の問題を解決してみせることで、学生は情報の知識と技術を修得する必然性を感じ取るものと考えた。

この理論を実行するには学生の動機づけ以前に、教授の情報機器を利用する動機づけが必要であった。本学では十数年以前より図書館に隣接した情報科学室（MacRoom）を中心として全学に向けた情報教育を始めた。学生は近年では初年度に iBook をもち、医学専門のテーマをもとに情報リテラシーを学んでいる。教職員には卒後教育として情報科学室で公開講座（医用画像処理、医療統計など）を開いている。

その結果、学生のコンピュータの利用は増した。教職員の自分の専門の仕事に情報技術を活用するようになった。しかし、情報科学技術のそれ以上の教育への展開は、まだこれからのようである。